



Toshiya Kakiuchi

垣内 俊哉

株式会社ミライロ
代表取締役社長

【会社所在地】〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3-8-15 新大阪松島ビル8F

【事業紹介】ユニバーサルデザインのコンサルティング(施設、製品、デザイン)
ユニバーサルマナーの研修、障害者モニターによる調査、バリアフリー情報共有のアプリ開発ならびに運用など。



【PROFILE】

1989年生まれ
立命館大学経営学部卒業
在学中に株式会社ミライロを設立

【設立年】 2010年(創業:2009年)

1989年生まれ、岐阜県中津川市出身。立命館大学経営学部在学中の2010年、(株)ミライロを設立。障害を価値に変える「バリアバリュー」の視点を活かし、企業や自治体、教育機関におけるユニバーサルデザインのコンサルティングを手がける。2014年には日本を変える100人として「日経ビジネスTHE100」に選出される。2015年より、日本財団パラリンピックサポートセンターの顧問に就任。2016年より、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会のアドバイザーに就任。著書は「バリアバリュー(新潮社)」

【座右の銘】 バリアバリュー(障害を価値に変える)

障害を価値に変える 「バリアバリュー」

車いすに乗っている私の目線の高さは106cmです。この視点だからこそ、見えること、気づけること、伝えられることがあります。障害や弱点などのバリアも、捉え方や周囲の環境次第で、価値や強みに変えることができます。私たちは「バリアバリュー」の視点で、誰もが安心して過ごすことができる環境を、日本へ、そして世界へと広げていきます。

会社の特徴

小さな想いを、 大きなうねりに変える会社

日本には障害者、高齢者やLGBT(性的少数者)など、社会へ想いを伝えられていない方が大勢います。私たちは多様な方の声に耳を傾け、人と企業を結び、社会性と経済性が伴った活動を行います。弊社の社員は6人に1人が障害のある当事者です。人々の想いと社会の共感を原動力とし、世界へ、未来へ向けてユニバーサルデザインの事業を展開します。



▲障害のある当事者の社員による講習風景

事業・サービスの強み

社会にある3つの壁を、 ユニバーサルデザインのアプローチで解消する

建物や製品など環境の壁に対して、当事者視点を活かした監修や調査、障害者専門の調査サービス「ミライロ・リサーチ」を活用した分析を行なっています。多様な方と向きあう上での意識の壁に対して、自分とは違う誰かの視点に立ち、適切な理解のもと行動する「ユニバーサルマナー検定・研修」を提供しています。情報の壁に対して、バリアフリー情報を皆で共有するアプリ「Bmaps」を企画・運営しています。



▲Bmaps(ビーマップ)